

令和7年度 市立奈良病院 医師労働時間短縮計画

計画期間

令和6年4月～令和9年3月末

対象医師

年間720時間以上、月45時間を年6回以上、月平均80時間以上の医師を対象とする

1. 労働時間と組織管理（共通記載事項）

（1）労働時間数

感染制御内科 1 名

年間の時間外・休日労働者時間数	前年度実績	当年度目標	計画期間修了 年度の目標
平均	43時間	40時間	35時間
最長	59時間	55時間	50時間
960時間～1860時間の人数・割合	0人・0.0％	0人・0.0％	0人・0.0％
1860時間越の人数・割合	0人・0.0％	0人・0.0％	0人・0.0％

整形外科医師 11名

年間の時間外・休日労働者時間数	前年度実績	当年度目標	計画期間修了 年度の目標
平均	22時間	20時間	20時間
最長	98時間	80時間	70時間
960時間～1860時間の人数・割合	0人・0.0％	0人・0.0％	0人・0.0％
1860時間越の人数・割合	0人・0.0％	0人・0.0％	0人・0.0％

消化器内科医師 11 名

年間の時間外・休日労働者時間数	前年度実績	当年度目標	計画期間修了 年度の目標
平均	24時間	20時間	20時間
最長	74時間	70時間	60時間
960時間～1860時間の人数・割合	0人・0.0％	0人・0.0％	0人・0.0％
1860時間越の人数・割合	0人・0.0％	0人・0.0％	0人・0.0％

消化器外科医師 8 名

年間の時間外・休日労働者時間数	前年度実績	当年度目標	計画期間修了 年度の目標
平均	27時間	20時間	15時間
最長	79時間	60時間	60時間
960時間～1860時間の人数・割合	0人・0.0％	0人・0.0％	0人・0.0％
1860時間越の人数・割合	0人・0.0％	0人・0.0％	0人・0.0％

脳神経外科医師 8名

年間の時間外・休日労働者時間数	前年度実績	当年度目標	計画期間修了 年度の目標
平均	32時間	25時間	25時間
最長	99時間	79時間	79時間
960時間～1860時間の人数・割合	0人・0.0％	0人・0.0％	0人・0.0％
1860時間越の人数・割合	0人・0.0％	0人・0.0％	0人・0.0％

救急・集中治療科医師 4名

年間の時間外・休日労働者時間数	前年度実績	当年度目標	計画期間修了 年度の目標
平均	40時間	35時間	35時間
最長	79時間	75時間	70時間
960時間～1860時間の人数・割合	0人・0.0％	0人・0.0％	0人・0.0％
1860時間越の人数・割合	0人・0.0％	0人・0.0％	0人・0.0％

循環器内科医師 11名

年間の時間外・休日労働者時間数	前年度実績	当年度目標	計画期間修了 年度の目標
平均	15時間	15時間	15時間
最長	79時間	70時間	65時間
960時間～1860時間の人数・割合	0人・0.0％	0人・0.0％	0人・0.0％
1860時間越の人数・割合	0人・0.0％	0人・0.0％	0人・0.0％

(2) 労務管理・健康管理

【労働時間管理方法】

前年度の取組実績	I C カード及び勤務報告書による出退勤管理
当年度の取組目標	出退勤管理に関して継続して事項に取り組む
計画期間中の取組目標	出退勤管理に関して継続して事項に取り組む

【宿日直許可の有無を踏まえた時間管理】

前年度の取組実績	各診療科の勤務実態に基づいた宿日直許可の再取得
当年度の取組目標	宿日直許可に基づき適切に取り組む
計画期間中の取組目標	宿日直許可に基づき適切に取り組む

【医師の研鑽の労働時間妥当性を明確するための手続き等】

前年度の取組実績	実績なし
当年度の取組目標	自己研鑽規程の周知する。 周知した規程を適切に管理する。
計画期間中の取組目標	継続して事項に取り組む

【労使の話し合い、36協定の締結】

前年度の取組実績	労働者の過半数代表者と協議・締結
当年度の取組目標	前年事項に取り組む
計画期間中の取組目標	継続して事項に取り組む

【衛生委員会、産業医等の活用、面接指導の実施体制】

前年度の取組実績	・安全衛生委員会を月1回開催する。 ・健康診断を年2回実施する。 ・全職員対象のストレスチェックを年1回実施し 高ストレス者に対しての面談（高ストレス者の希望者のみ）
当年度の取組目標	前年事項に取り組む
計画期間中の取組目標	継続して事項に取り組む

【追加的健康確保措置の実施】

前年度の取組実績	面接指導実施の必須研修修了者 1 名確保する。
当年度の取組目標	・代償休息確保を可能とする勤務体制の構築 ・対象医師への面接指導の実施体制の構築
計画期間中の取組目標	上記事項に取り組む

(3) 意識改革・啓発

前年度の取組実績	・医局会などにおいて、医師の働き方改革の制度について説明し意識付けを行った。 ・毎月開催している安全衛生委員会にて長時間労働の状況について報告を行っている。
当年度の取組目標	上記事項に取り組む
計画期間中の取組目標	上記事項に取り組む

(4) 策定プロセス

各職種（医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、診療放射線技師、理学療法士、事務員）

の代表者にて開催している委員会にてこの計画を検討を行い策定した。

策定後には、当該計画を院内ネットワークに公開している。

2. 労働時間短縮に向けた取り組み（項目ごとに任意の取組を記載）

（1）タスク・シフト／シェア

【看護師】

計画策定時点での取組実績	・ 静脈注射認定看護師の資格制度 ・ 特定行為研修修了者の育成（3人→4人）
計画期間中の取組目標	継続して事項に取り組む。

【医師事務作業補助者】

計画策定時点での取組実績	・ 医師事務作業補助者25名体制で医師の具体的指示の下、 診療録・各種書類等の代行入力及び検査手順説明を行う。 (25人→31人)
計画期間中の取組目標	・ 上記事項に取り組む。

【薬剤師】

計画策定時点での取組実績	・ 医師と事前に取り決めたプロトコールに基づいた周術期、病棟等における薬学的管理や薬物法に関する説明および調剤薬局から ・ 疑義照会に関する取り組み。
計画期間中の取組目標	・ 上記事項に取り組む。

【診療放射線技師】

計画策定時点での取組実績	・ （医師の具体的指示の下での）撮影部位の確認、検査オーダーの代行入力、画像誘導放射線治療（IGRT）における画像の一次照合、 ・ 放射線造影検査時の造影剤の投与、投与後の抜針・止血、周血管造影（IVR）における補助行為。
計画期間中の取組目標	・ 上記事項に取り組む。

【臨床検査技師】

計画策定時点での取組実績	・ （医師の具体的指示の下での）負荷心電図検査等における生体情報モニターの血圧や酸素飽和度等の確認業務、外来における採血業務、細胞診や超音波検査等の検査所見の記載、病理診断における手術検体等の切り出し、画像解析システムの操作、病理解剖（助手）等
計画期間中の取組目標	・ 上記事項に取り組む。

【視能訓練士】

計画策定時点での取組実績	・ （医師の具体的指示の下での）検査機器操作および手術機器操作補助
計画期間中の取組目標	・ 上記事項に取り組む。

【救急救命士】

計画策定時点での取組実績	・ ER業務の補助（3人→4人）
計画期間中の取組目標	・ 上記事項に取り組む。

【臨床工学技士】

計画策定時点での取組実績	・ （医師の具体的指示の下での）生命維持管理装置等の操作および設定変更、表示数値等の確認、手術室で積極的な機器操作補助および管理業務の推進。 ・ 機器装着中の患者移送等。
計画期間中の取組目標	・ 上記事項に取り組む。

(2) 医師の業務の見直し

計画策定時点での取組実績	・ICU当直・CCU当直・ER当直・院内当直・小児科当直・産婦人科当直の6つの当直体制をとり医師の負担軽減する体制を実施している。 ・勤務計画上、連続当直を行わない勤務体制を実施している。 ・土曜日外来診療の縮小。
計画期間中の取組目標	・上記事項に取り組む。 ・土曜日外来診療休診

(3) その他の勤務環境改善

計画策定時点での取組実績	・業務負担軽減の為、常勤医の新規採用 ・医療情報を共有アプリの導入により情報共有することで当番医・オンコール勤務の負担軽減。 ・子育て世代の医師が働きやすい環境を整備 ・院内保育所の設置 ・夜勤の免除・制限を実施。希望者は他部署への配置転換。 ・電離放射線障害防止規則に則った放射線業務への従事制限 ・育児者の短時間勤務体制として、部分育児休業の実施。 ・子の看護休暇の実施。 ・夜勤の負担軽減 勤務後の暦日の休日の確保の徹底。
計画期間中の取組目標	・上記事項に取り組む。

(4) 副業・兼業を行う医師の労働時間の管理

計画策定時点での取組実績	・副業・兼業（外勤）先の勤務申請にて労働時間を把握
計画期間中の取組目標	・上記事項に取り組む。

(5) C－1水準を適用する臨床研修医及び研究の効率化

計画策定時点での取組実績	該当なし
計画期間中の取組目標	該当なし